

呼吸器内科、腫瘍内科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針」(令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

カルボプラチン+エトポシド療法におけるアプレピタント追加投与時の予防制吐効果の評価

[研究責任者名・所属] 菅原 満 薬剤部 薬剤部長

[研究の目的]

カルボプラチン+エトポシド療法は進展型小細胞肺癌に対して用いられる治療法です。カルボプラチンは副作用として吐き気や食欲低下などの消化器症状が出現することが知られているため、本治療では吐き気を抑えるお薬(制吐薬)を事前に投与しています。以前は予防として2種類の制吐薬を使用していましたが、制吐薬適正使用ガイドラインの改定に則り、2017年7月以降はアプレピタントという飲み薬を追加した3種類の制吐薬を使用しています。アプレピタントを追加したことで吐き気を予防する効果がより高まったという報告がある一方、追加前後で吐き気を予防する効果に差はみられなかったという報告もあり、一定の見解が得られていないのが現状です。これらを正しく評価することは制吐薬の適切な選択を行う上で重要な知見となることが考えられます。そのため、本研究ではカルボプラチン+エトポシド療法において、アプレピタント追加による吐き気の予防効果を評価することを目的として実施します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2012年12月から2021年8月の間に北海道大学病院呼吸器内科(旧名称:内科I)または腫瘍内科でカルボプラチン+エトポシド療法を受けられた患者さん。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、吐き気の状態、検査結果(血液検査)、併用薬、処置内容、治療歴

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、

その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 担当 門 萌子

電話 011-706-3455 FAX 011-706-4319